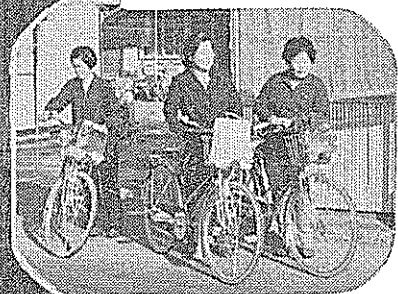


昭和45年2月10日



活躍する三人の

ホーム・ヘルパーさん

寝た切り老人や身障者の身の廻りの世話をしている市の家庭奉仕員さんは、寒い冬のまちを今日も訪問先へ元気に向いました。

写真

① 午前九時、それぞれの訪問先へ出発

② 五、六年前から臥せているという九十歳も間近のおばあさんと…

③ おむつの洗たくも手ぎわよく



市のうごき (12月末現在)

| | | | |
|-----|-------------|----|-----|
| 転入 | 176 | 転出 | 402 |
| 出生 | 44 | 死亡 | 56 |
| 人口 | 42,446人 | | |
| | (男 20,852人) | | |
| | (女 21,594人) | | |
| 世帯数 | 12,121戸 | | |

ことは待望の重症身心障害児の養護施設や特別養護老人ホームが市内にでき、寝た切りで家庭にいる人たちにとって、大きな福音となる。▼ところでおとしよりが家庭を放れるという事は、おば捨て山にされたという感が強いようである。だからといって、行き届いた世話のできる



家庭であれば家族のなかにあって、心安まるものがあるであろうが、その日暮しといった生活での寝た切り老人にとって

は、こうした養護施設のほうに、話し相手もあり、孤独感から解放され、▼まして何年来、入浴といったことのない人たちにとって、週二回ほどの入浴は、一番うれしいものだといえよう。ある満ち足りた家族で、母親をみとったという方が、入浴だけは十分させてやれなかった。このような施設のあることを知っておれば、入所させてやりたかったと、つくづく述べていたという話もきく。こうした施設をよく見知っておくことも大切なことである。